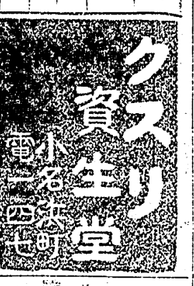
（第三種郵便物認可 昭和七年六月十五日）
常磐新聞 （日曜日） 第一千百六十四號 【一】
昭和十三年九月十八日

夕刊

九月十七日
發行兼編輯印刷人 伊藤隆吉
福島縣小名濱町古港一
發行所 常磐新聞社
日刊但日曜祭日翌日休刊
一部二錢 一ケ月三十錢
廣告料 一行五十錢



# 二十萬圓の大金をポンと投げて 鮫川疏水工事は日素がやる

## 悩みぬひた揚句の果がこう

昔よりの因果關係にある鮫川疏水工事は因果は回るで七萬圓位で完成する豫定であつたのが十七万圓も掛る今度こそはと縣も組合も意氣込んだ事業であつたのに工事は中止事になり工業用水となつた鉱山業者も少しは屁ともせずするの曲折に富み折角の工事も通水を見ないで半壊の狀態に置かれてしまつた反面日本水素は水利の通水を唯一の力と賴み工場建設も着々竣工へと進んでゐるに鮫川通水が停滯狀態となつて流石の大事業家も少しは屁ともせずゐるのに業を煮やし縣並に組合と幾折衝も試みたが無い袖が振れない實狀に愛ら太腹に苦へ顔一つ見せない處は大事業家の貫錄か、振掛り結局二十萬圓と云ふ大金を縣に寄附の形式を取り工事一式を日素で引受けしたから着手する事になつた、最初のこれで良かつたと縣も組合も苦笑してゐるが、ホットしたか因果はどこ迄回るものか？

# 所得稅調査委員選擧

## 平署管内で七名選出

### 名簿縱覽は二十日より五日間

平稅務署所管内所得稅調査委員及び補闕改選は十月十日午前九時より三時迄町村役場で投票し即日開票する事になつてゐる選擧人名簿副本縱覽期間は九月二十日より五日間一般に閱覽せしめ脫落者は至急申立るように注意されてゐる、委員選出は平署管内では七名であるる調査委員選擧は戸別訪問も認め男女共資格者ば有權者である平稅務管内有權者は一千四百票前例に見て投票は半紙の七百票、候補者一人平均投票が百票だから悉く知己か因果はどこ迄回るものか？

# 所得稅調査委員候補者に高木保氏有力

今次執行される所得稅調査委員選擧は小名濱町の有權者數八十二名あり、片濱通りよりの代表候補者として小名濱町助役高木保氏の立候補有力となり江名町、鹿島玉川隣町村でも事情を知悉する關係上各關係有力者は起意を慫慂してゐる狀勢で小野町長の勸說あれば高木保氏の立候補は實現するものと見られてゐる

# 兜町株式仲買一行二十二名

## 日本水素工業視察

### 遠山重役の案内で

東京兜町株式仲買の御歷々一行二十一名は日本水素遠山重役の案内で來小する事になつたが一行のプログラムは十七日夕刊平着一泊十八日午前中日曹經營の赤井〇で戰病死した旨十六日原炭坑視察、午後二時小名濱隊から祭表され着、水素工業視察終つて小瀧に小憩、午後七時の上り東京兜町株式仲買の御歷々列車にて歸京の豫定である

× ×

# 蛭田上等兵陣沒

荷路夫村出身輜重部隊上等兵蛭田武雄君は八月二十日

# 防空訓練最終日 日素特設防護團

## 杉原技師長講評で解散

防空訓練五日間に亘り特設より夜間演習の行事を濟し防護團として出色し本部等杉原技師長の講評があつたよりも視察に臨場された程が良好なる實績を擧げた勞を犒した本水素工業防護團は最終日の十六日六時るよう諭された

# 羽田小名濱間 試驗飛行

## 演習講評

平市では明後日

來る二十二日一等飛行士試五日間に亘つて行はれた東驗飛行を左のコースで實施部防衛管區一府十八縣の防ら、羽田、桐生、小名濱空演習は十六日午后十時を羽田の往復飛行試驗官とし以終了したが平市では十て航空局加古技手來小する九日午後二時平第一校講堂飛行士外二名である

# 父茂作儀永々病氣療養中の處藥石効無く本日午前三時二十分死去致候間生前の御厚誼を拜謝し此段謹告仕り候

追而葬送の儀は消防葬を以て來る二十一日午後一時より平市第三小學校講堂に於て告別式執行の上市内大寶寺へ埋葬可仕候尚當日午前十一時迄は自宅に於て御弔問拜受可仕候取混み中御通知洩れも有之可く候廣告を以て御通知に代へ候間御容赦被下度候

昭和十三年九月十五日

福島縣平市五町目

嗣子 井上貞治郎
親戚總代 中野一衞
同 中川良助
同 中野憲次
友人總代 緒方惟一郎
青沼鉾太郎
安島重三郎
佐藤庄太郎
木村清治
星一
鈴木辰三郎
諸橋久太郎
三井榮一
柏原幸次郎

# 當會社取締役井上茂作殿病氣中の處本日午前三時二十分死去致され候間此段謹告候也

昭和十三年九月十五日

片倉磐城製紙會社

工場長 今井岩根

# 平消防組頭井上茂作儀豫て病氣中の處藥石効なく昨十五日午前三時二十分逝去致され候に付消防葬を以て左記の通り告別式執行可致此段及御通知候

一、日時 九月二十一日午後一時
一、式場 平市第三小學校講堂

昭和十三年九月十六日

平消防組

葬儀委員長 副組頭 關内正一
平市市長 青沼鋒太郎
平警察署長 本田勇治郎
消防隊副隊長 蒲田榮太郎

## 巷の聲

小名濱發展の第一着手は町民の裳を開く事、又暗礁に乘上げた日素北側産業道路

日本水素が小名濱の一角に巍然たる城廓を築き、小名濱發展上に拍車を掛けた事は何人も肯定出來る現實である、然し今日迄に用地買收には隨分手を焼き小名濱への工場は放棄すると迄憤慨させた事實も眞新しき事實である、工場西側道路は曲折の果圓滿なる解決を告げ、富岡日素間の水路も大体目ハナがつき、曲りなりにも實績を舉げてゐるが、今度は日本水素北側三間道路の開鑿に對し土地所有者と再三交渉を續けてゐるが、又暗礁に乘上げた姿である、この道路は日素北側に會社と併行する産業道路で會社として三間道路を開さくして町に寄附する形式になるもので、この土地を買收して會社　は金儲けの具に供するものではない緣故的な道路だから立派なものにしたい、と云ふ以外何ものもないのである、然るに僅か一間巾や二間の土地で、あの荒地を相當價格で買收して本町に寄附すると言ふのに何彼と難クセをつけ腹の底迄見透いた奴慾を發揮するとは何と卑しき行爲はなかろうか、聞くにあの道路は都市計畫中にあり不日町役場で都計法に依り開さくする計畫中のものとの事である、大小名濱町民は大町民の襟度が必要である、相變らずケチな從來の小名濱人の態度では例へ今大金をセシメても寶の持腐れよう一歩も出ないであろう、先づ大小名濱市建設には町民の目先より一歩も出ない患を改め蒙を拓く事が本町としての大事業とみなげればなるまい

### 與太は亂れ飛ぶ

五日間の防空訓練では與太も飛ばせず暗夜に筆も持てず燻つたものと見えて一通の投書もない人間は眞劍の面に與太氣もなければ駄目だ、殊に青年は四角四面では大きくなれない、與太を飛ばす位の餘裕は必要だ、大敵を眼前に控へてハナ唄一つも出る位の度胸がなくては非常時國民として恥しい噺だ、何と言ふても男性は女性のことなれば陽氣になる、女性も又そうである

男は唄を聽いても如何、、そこに妙な[illegible]に美聲でも男聲よりは金[illegible]切聲の女の聲に魅力を感じ種は、いくらでも湧いてる大軍を叱咤する將軍でも妻そうなもの[illegible]君には内所では御輕蔑なすよ太つて呉れ

---

石炭、コークス販賣
ガソリン油類
福祿ストーブ取次店

**小松重兵衛**

小名濱下町
電話六五番

---

○科。小兒科。婦人科、花柳病科

**久保田醫院**

小名濱町
電話二二番

---

肛門病科　皮膚病科
花柳病科　泌尿器科

**北川外科**

◉診療晝夜
◉入院隨時

平市新川（電話四六四番）
醫學博士　北川芳夫
【血液檢査毎日】技師　三浦常保

---

―涼味滿點―

サービス孃の裝ひも
萬端に御待ち申して
居ります

カフエー　**ホーライ**

---

[illegible]――安い
流行の――新しい
仕立の――良い

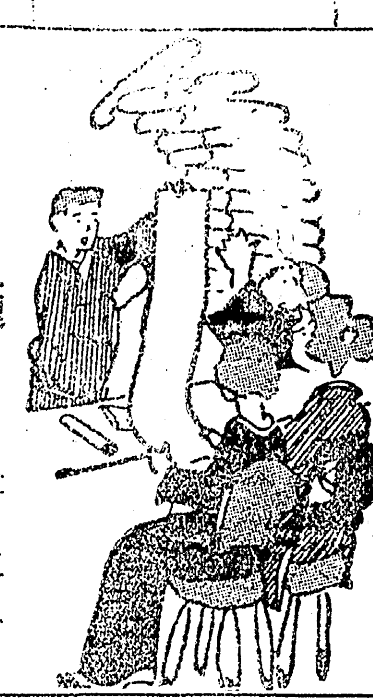
[illegible]德會

**小松洋服店**

平市紺屋小路十二
小松正治

---

呉服類は……



**樋口呉服店**

小名濱町中島通り

---

耳鼻
咽喉

毎週月、水、金、午前十時出診

**小名濱分院**

小名濱町中町小學校前

**大和田**耳鼻咽喉科**醫院**

本院平南町（電一七〇）

---

眼科專門

**鈴木眼科醫院**

本院　植田町
分院　小名濱町古港

---

## 狸　有利な養狸を奨む

副業としても「本業」としても老人小供にても飼育可能只今が買へ時「見よ今や至る所養狸熱旺盛」一番の養狸より巨萬の富を得し方あるは此れを實證す本年の仔狸は來春仔を生み多きは十匹平均五六匹と云ふ率にて數百圓の純益あり當所は右希望者の爲に良き相談相手となり優良種を責任を以て御世話致します且飼育指導狸舍の設計等の御相談にも應じます

石城郡泉驛前
**鈴木家畜醫院養狸研究部**
獸醫師　鈴木充美

（當所の養狸場御遠慮なく御見學下さい）

---

## 味覺の殿堂

「幸樂」自慢の即席料理！

御商談に
御會食に

割烹　**幸樂**

---

御土産は？

**文屋**で

電話一三九番